



オンライン開催：JICA 中国 第1回国際教育研修会 教室で考える「多様な社会」



地域に多くの外国人が暮らし、「多文化共生」という言葉を見聞きする機会も増えてきました。

しかし、外国人と日本人が共に生きることだけが共生社会でしょうか？異文化や多様性って国籍や民族だけの問題でしょうか？

本研修では、2020年度 JICA 中国主催「開発教育教員研修アドバンスコース」に参加された先生が作成した『「多様な社会」を考える学びのプログラム集』を活用し、すべての人が生きやすい「誰ひとり取り残さない社会」について、また、それを児童生徒に伝えるための効果的な授業実践について、ワークショップを通して考えます。

【ワークショップ①】

『「ハンセン病問題」から考えるコロナー排除や差別はどのようにつくられるのか、という構造を理解し、自分自身の行動を考えるー』

上田 智子 教諭（盈進中学高等学校教諭・2016年教師海外研修ラオスコース参加者）

【講義・ワークショップ②】

「ニコリ駅周辺再開発計画」

山中 信幸 氏（川崎医療福祉大学 教授）

専門は学校教育学、教育方法学、教師教育、開発教育。JICA・NGO・教育委員会等と連携して国際理解教育・開発教育の単元開発、教材開発に取り組み、教員や一般、学生を対象としたワークショップを数多く実施。著書：共著『国際理解教育ハンドブック グローバルシティズンシップを育む』（2015）明石書店、共著『SDGsと開発教育 持続可能な開発目標のための学び』（2016）学文社、その他。

2021年6月27日（日） 12:30～17:15

定員：ZOOM 40名

対象：教員、学生、国際教育・SDGsに関心のある方

※ビデオ・マイクを使用してお申し込みの方（顔を出して意見交換可能な方）を優先させていただきます

※お申込みの方に資料、ワークシート、参加URLをお送りします。

**参加費
無料**



【お申込み】お名前、職業と所属先（教員の方は校種・担当教科、学生の方は所属学部・学年）、住所（都道府県）、E-Mail をご記入の上、件名を「国際教育研修会申込」としてE-mailでお申込み下さい。

JICA 中国 市民参加協力課（担当：新川） E-mail：jicacice@jica.go.jp TEL：082-421-6305